

【FdData 中間期末：中学数学 1 年：比例と反比例の応用】

[\[水そうの問題／図形上の点の移動／速さの問題／てんびん・歯車など／
グラフ：座標と式など／FdData 中間期末製品版のご案内\]](#)

[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) 掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

数学：[\[数学 1 年\]](#)，[\[数学 2 年\]](#)，[\[数学 3 年\]](#) ([Shift]+左クリック)

理科：[\[理科 1 年\]](#)，[\[理科 2 年\]](#)，[\[理科 3 年\]](#) ([Shift]+左クリック)

社会：[\[社会地理\]](#)，[\[社会歴史\]](#)，[\[社会公民\]](#) ([Shift]+左クリック)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】 水そうの問題

[問題](2 学期期末)

水が 200l 入る水そうに、毎分 8l の割合で水を入れていく。水を入れはじめてから x 分後の水の量を y l とするとき、次の各問いに答えよ。

- (1) x ， y の関係を式に表せ。
- (2) x の変域を求めよ。
- (3) y の変域を求めよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) $y = 8x$ (2) $0 \leq x \leq 25$ (3) $0 \leq y \leq 200$

[解説]

(1) 1 分間に 8l の水が入るので、 x 分では $8 \times x = 8x$ (l) の水が入る。

ゆえに $y = 8x$

(2) $y = 8x$ に $y = 200$ を代入すると、 $200 = 8x$ ， $x = 200 \div 8$ ， $x = 25$

よって 25 分後に水がいっぱいになり、 $x > 25$ の範囲では $y = 8x$ の式は成り立たない。

また、 $x < 0$ はこの問題では意味をなさない。

よって、 $y = 8x$ が成り立つ x の変域は、 $0 \leq x \leq 25$

(3) $x = 0$ のとき $y = 0$ ， $x = 25$ のとき $y = 200$ なので、

x の変域が $0 \leq x \leq 25$ なら、 y の変域は $0 \leq y \leq 200$ となる。

[問題](2 学期期末)

300l 入る水そうに、毎分 15l ずつ水を入れていく。このとき、次の各問いに答えよ。ただし、最初、水は入っていないものとする。

- (1) x 分間水を入れたときの水そうに入っている水の量を y l とする。このとき、 y を x の式で表せ。
- (2) 水そうがいっぱいになるときの時間を求めよ。
- (3) x, y のそれぞれの変域を、不等号を使って表せ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)

[解答](1) $y = 15x$ (2) 20 分 (3) $0 \leq x \leq 20$ $0 \leq y \leq 300$

[解説]

(1) 毎分 15l ずつ水を入れるので、 x 分で $15 \times x = 15x$ (l) の水が入る。

したがって、 $y = 15x$

(2) 水そうがいっぱいになるとき $y = 300$ である。 $y = 15x$ に $y = 300$ を代入すると、 $300 = 15x$, $x = 300 \div 15$, $x = 20$ したがって、20 分後に水そうがいっぱいになる。

(3) 水そうは 300l までしか入らないので、 y の変域は $0 \leq y \leq 300$

(2) より 20 分後に水がいっぱいになり、 $x > 20$ の範囲では $y = 15x$ の式は成り立たない。また、 $x < 0$ はこの問題では意味をなさない。よって、 $y = 15x$ が成り立つ x の変域は、 $0 \leq x \leq 20$

[問題](後期中間)

水が 150l 入る水そうに、毎分同じ割合で水を入れ始めてから x 分後の水そうに入った水の量を y l とする。次の表は、このときの x と y の関係を表したものである。各問いに答えよ。

時間 x (分)	0	1	2	3	...
水の量 y (l)	0	ア	30	イ	...

- (1) 表のア、イにあてはまる数を求めよ。
- (2) y を x の式で表せ。
- (3) x と y の変域を求めよ。

[解答欄]

(1)ア	イ	(2)
(3)		

[解答](1)ア 15 イ 45 (2) $y = 15x$ (3) $0 \leq x \leq 10$ $0 \leq y \leq 150$

【解説】

(1) 表より、2分間に30lの割合で水が増えているので、1分間では $30 \div 2 = 15$ l増える。したがって、 $x=1$ のとき $y=15$ 、 $x=3$ のとき $y=15 \times 3 = 45$ となる。

(2) y は x に比例するので $y=ax$ の形で表すことができる。

表で、 $x=2$ のとき $y=30$ なので、 $y=ax$ に代入すると、 $30 = a \times 2$ よって $a=15$

ゆえに $y=15x$

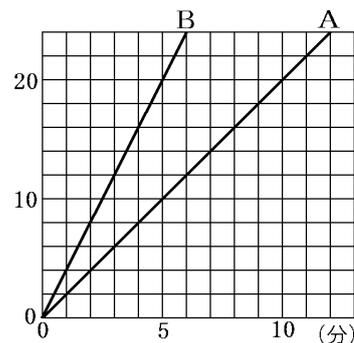
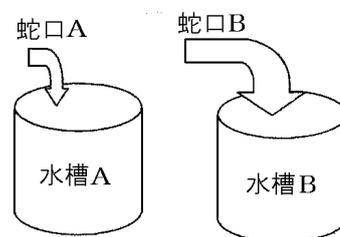
(3) この水そうに入る水の最大量は150lなので、 y の変域は、 $0 \leq y \leq 150$

$y=15x$ に $y=150$ を代入すると、 $150 = 15x$ 、 $x=10$

よって、 x の変域は $0 \leq x \leq 10$

【問題】(後期中間)

深さが24cmある同じ円柱の水そうA、水そうBがある。水そうAには蛇口Aで、水そうBには蛇口Bで水を入れる。空の状態から2つ同時に水を入れ始め、満水になったら水を止めた。右下のグラフはこの様子を表したものである。水を入れ始めてから x 分後の水面の高さを y cmとして、次の各問いに答えよ。



(1) 水そうA、水そうBについて、それぞれ y を x の式で表せ。

(2) 水そうAの x の変域を求めよ。

(3) 水そうAと水そうBの水面の高さの差が6cmになるのは、水を入れ始めてから何分後か。

(4) 蛇口Aと蛇口Bを両方使って、空の水そうAに水を入れることにする。水そうAが満水になるのは入れ始めてから何分後か。

【解答欄】

(1)水そうA：		水そうB：	
(2)	(3)	(4)	

【解答】(1)水そうA： $y=2x$ 水そうB： $y=4x$ (2) $0 \leq x \leq 12$ (3) 3分後 (4) 4分後

【解説】

(1) 水そうA、水そうBともに y は x に比例するので、それぞれ、 $y=ax$ 、 $y=bx$ とおく。グラフより、水そうAでは、 $x=5$ のとき $y=10$ なので、 $y=ax$ に $x=5$ 、 $y=10$ を代入すると、 $10 = a \times 5$ 、 $a=10 \div 5 = 2$ よって、 $y=2x$

水そうBでは、 $x=5$ のとき $y=20$ なので、 $y=bx$ に $x=5$ 、 $y=20$ を代入すると、 $20 = b \times 5$ 、 $b=20 \div 5 = 4$ よって、 $y=4x$

(2) グラフより、水そう A は $x=12$ のとき $y=24$ になるので、 x の変域は $0 \leq x \leq 12$

(3) (1)より、水そう A は $y=2x$ 、水そう B は $y=4x$ なので、 x 分後の水面の高さの差は、 $4x-2x=2x$ となる。高さの差が 6cm になるとき、 $2x=6$ が成り立つ。よって、 $x=6 \div 2=3$ 水面の高さの差が 6cm になるのは、水を入れ始めてから 3 分後。

(4) 水そう A は $y=2x$ 、水そう B は $y=4x$ なので、蛇口 A と蛇口 B を両方使うと、 x 分後には、 $2x+4x=6x$ (cm)になる、満水になるとき、 $6x=24$ 、 $x=24 \div 6=4$ よって、4 分後に満水になる。

[問題](3 学期)

毎分 6l ずつ水を入れると、1 時間でいっぱいになる水そうがある。

(1) 毎分 x l ずつ水をいれるとき、水そうがいっぱいになるまでに y 分かかるとして、 y を x の式で表せ。

(2) (1)の場合、 x と y は比例か反比例か。

(3) 毎分 4l ずつ水を入れると、何分で水そうがいっぱいになるか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) $y = \frac{360}{x}$ (2) 反比例 (3) 90 分

[解説]

(1) 毎分 6l ずつ水を入れると、1 時間 = 60 分で水そうがいっぱいになるので、
(水そうに入る水の量) = $6 \times 60 = 360$ l

毎分 x l ずつ水をいれるとき、水そうがいっぱいになるまでに y 分かかるとすると、

$$x \times y = 360 \quad \text{両辺を } x \text{ で割ると、} \quad y = 360 \div x, \quad y = \frac{360}{x}$$

(2) $y = \frac{a}{x}$ の形になるとき、 x と y は反比例するので、 $y = \frac{360}{x}$ は反比例の式である。

(3) $x=4$ を $y = \frac{360}{x}$ に代入すると、 $y = \frac{360}{4} = 90$ (分)

[問題](3 学期)

24l 入るからの水そうを満水にするのに 1 分間に x l ずつ水を入れるとき、 y 分かかるとする。次の各問いに答えよ。

- (1) $x=8$ のときの y の値を求めよ。
- (2) y を x の式で表せ。
- (3) x の変域を $4 \leq x \leq 12$ とするとき、 y の変域を求めよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) $y=3$ (2) $y=\frac{24}{x}$ (3) $2 \leq y \leq 6$

[解説]

(1) 1 分間に $x=8$ l ずつ水を入れると、 $24 \div 8=3$ 分かかる。ゆえに、 $y=3$

(2) (1 分間にいれる水の量) \times (満水にするのにかかる時間) $=24$ なので、

$$xy=24, \text{ 両辺を } x \text{ で割ると, } y=24 \div x, \quad y=\frac{24}{x}$$

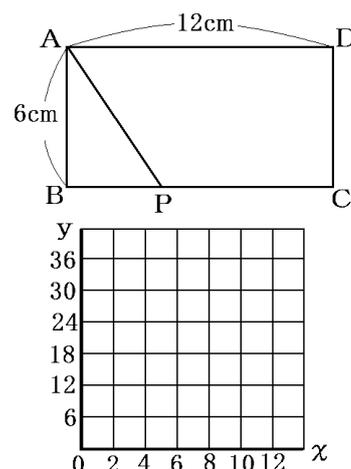
(3) $x=4$ を $y=\frac{24}{x}$ に代入すると、 $y=\frac{24}{4}=6$ 、 $x=12$ を $y=\frac{24}{x}$ に代入すると、 $y=\frac{24}{12}=2$

よって、 y の変域は、 $2 \leq y \leq 6$

【】 図形上の点の移動

[問題](後期期末)

右の図のような長方形 ABCD の辺 BC 上を点 P が B を出発して C まで進む。点 P が B を出発してから x cm 進んだときの $\triangle ABP$ の面積を y cm^2 とし、次の各問いに答えよ。

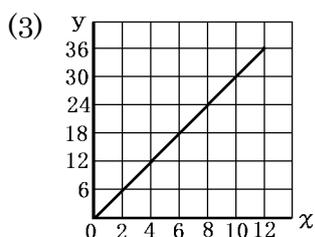


- (1) y を x の式で表せ。
- (2) x, y の変域を、それぞれ不等号を使って表せ。
- (3) x と y の関係をグラフに表せ。
- (4) $\triangle ABP$ の面積が 25cm^2 になるのは BP が何 cm のときか。

[解答欄]

(1)	(2)	(4)
<p>(3)</p>		

[解答](1) $y = 3x$ (2) $0 \leq x \leq 12, 0 \leq y \leq 36$ (4) $\frac{25}{3}$ cm



[解説]

(1) 点 P が B を出発してから x cm 進んだとき、 $BP = x$

$$(\triangle ABP \text{ の面積}) = \frac{1}{2} \times (\text{底辺 } BP) \times (\text{高さ } AB) = \frac{1}{2} \times x \times 6 = 3x \quad \text{よって、} y = 3x$$

(2) 点 P は B を出発して C まで進む。点 C に到着したとき、 $x = BP = 12$
 よって、 x の変域は $0 \leq x \leq 12$ となる。 $x = 0$ のとき $y = 0$ $x = 12$ のとき
 $y = 3x = 3 \times 12 = 36$ よって、 y の変域は $0 \leq y \leq 36$ となる。

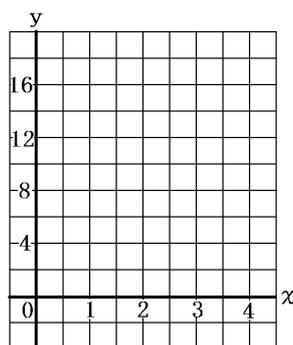
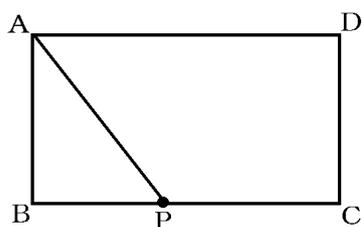
(3) 原点と $(12, 36)$ の点を結ぶ。

(4) $\triangle ABP$ の面積が 25cm^2 になるとき、 $y = 25$ である。

これを $y = 3x$ に代入すると、 $25 = 3x$ 、両辺を 3 でわると、 $x = \frac{25}{3}$

[問題](3 学期)

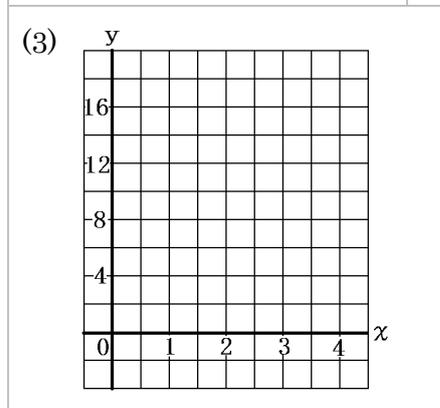
辺 AB が 4cm 、辺 BC が 8cm の長方形 $ABCD$ がある。点 P は、辺 BC 上を点 B から点 C まで、毎秒 2cm の速さで動く。点 P が出発してから x 秒後の $\triangle ABP$ の面積を $y\text{cm}^2$ とするとき、次の各問いに答えよ。



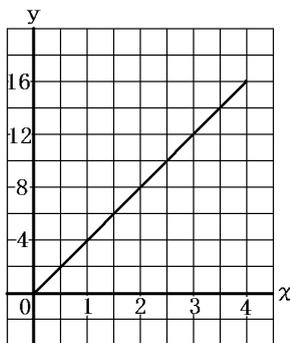
- (1) y を x の式で表せ。
- (2) x の変域を求めよ。
- (3) x と y の関係をグラフに表せ。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----



[解答](1) $y = 4x$ (2) $0 \leq x \leq 4$ (3)



[解説]

(1) 点 P は毎秒 2cm の速さで動くので、 x 秒後には、 $BP = 2 \times x = 2x$

$$(\triangle ABP \text{ の面積}) = \frac{1}{2} \times (\text{底辺 } BP) \times (\text{高さ } AB) = \frac{1}{2} \times 2x \times 4 = 4x$$

よって、 $y = 4x$

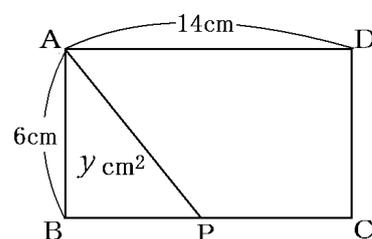
(2) P は BC 上を動き、点 C に到着するのは $2x = 8$ 、 $x = 4$ 秒後なので、

x の変域は、 $0 \leq x \leq 4$

(3) 原点と(4, 16)の点を結ぶ。

[問題](後期期末)

右図のような長方形 ABCD で、点 P は辺 BC 上を B から C まで毎秒 2cm で動く。このとき x 秒後の $\triangle ABP$ の面積を $y \text{ cm}^2$ とし、次の各問いに答えよ。ただし、点 P が頂点 B の位置にあるときの y の値を 0 とする。



(1) y を x の式で表せ。

(2) $x = 3$ のとき y の値を求めよ。

(3) x の変域を、不等号を使って表せ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) $y = 6x$ (2) $y = 18$ (3) $0 \leq x \leq 7$

[解説]

(1) 点 P は毎秒 2cm の速さで動くので、 x 秒後には、 $BP = 2 \times x = 2x$

$$(\triangle ABP \text{ の面積}) = \frac{1}{2} \times (\text{底辺 } BP) \times (\text{高さ } AB) = \frac{1}{2} \times 2x \times 6 = 6x \quad \text{よって、} y = 6x$$

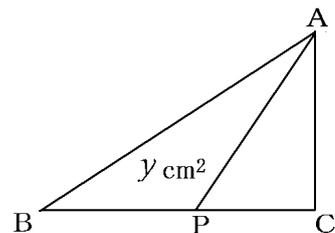
(2) $y = 6x$ に $x = 3$ を代入すると、 $y = 6 \times 3 = 18$

(3) P は BC 上を動き、点 C に到着するのは、 $2x = 14$ 、 $x = 7$ 秒後なので、

x の変域は、 $0 \leq x \leq 7$

[問題](3 学期)

AC=6cm, BC=10cm, $\angle C=90^\circ$ の直角三角形 ABC の辺 BC 上を, 点 P が, 毎秒 1cm の速さで B から C まで動く。点 P が B を出発してから x 秒後の $\triangle ABP$ の面積を $y \text{ cm}^2$ とする。このとき, 次の各問いに答えよ。



(1) x と y の関係を式で表せ。

(2) x の変域を求めよ。

(3) $\triangle ABP$ の面積が 24 cm^2 になるのは, 点 P が B を出発してから何秒後か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) $y = 3x$ (2) $0 \leq x \leq 10$ (3) 8 秒後

[解説]

(1) 点 P は毎秒 1cm の速さで動くので, x 秒後には, $BP = 1 \times x = x$

($\triangle ABP$ の面積) $= \frac{1}{2} \times (\text{底辺 } BP) \times (\text{高さ } AC) = \frac{1}{2} \times x \times 6 = 3x$ よって, $y = 3x$

(2) P は BC 上を動き, 点 C に到着するのは, $x = 10$ 秒後なので,

x の変域は, $0 \leq x \leq 10$

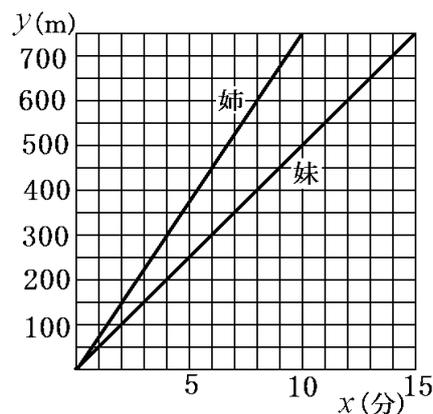
(3) $y = 3x$ に $y = 24$ を代入すると, $24 = 3x$, $x = 24 \div 3 = 8$

よって, 8 秒後

【】 速さの問題

[問題](3 学期)

姉と妹が同時に家を出発し、家から 750m はなれた学校へ行くのに姉は分速 75m で、妹はある速さで歩いた。右のグラフは、家を出発してから x 分後に家から y m 離れた地点にいることを表したものである。このグラフを利用して、次の各問いに答えよ。



- (1) 妹が学校に着くのは何分後か。
- (2) 妹の速さは分速何 m か。
- (3) 2 人が 200m はなれるのは、家を出発してから何分後か。
- (4) 姉が学校に着いたとき、妹は学校まであと何 m のところにいるか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) 15 分後 (2) 毎分 50m (3) 8 分後 (4) 250m

[解説]

(1) 妹のグラフで $y = 750$ になるのは $x = 15$ なので、妹は 15 分後に学校に着く。

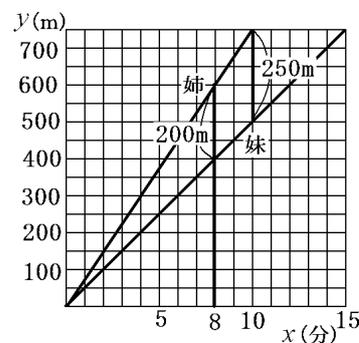
(2) 750m を 15 分で歩くので、

$$(\text{速さ}) = (\text{距離}) \div (\text{時間}) = 750 \div 15 = 50$$

従って、妹の速さは分速 50m である。

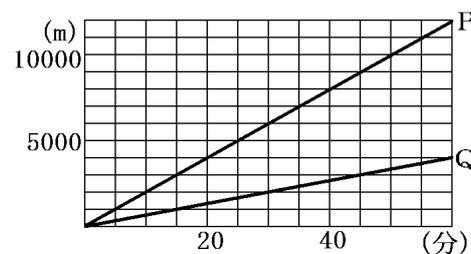
(3) 右のグラフより姉と妹の距離 y の差が 200m になるのは、 $x = 8$ のときなので、8 分後。

(4) 姉は 10 分後に学校に着く。 $x = 10$ のときの姉と妹の距離 y の差グラフより 250m



[問題](3 学期)

学校から A 駅へ行くのに、P は自転車で、Q は歩いて、同時に出発した。右のグラフは、2 人が出発してからの時間と進んだ道のりの関係を示している。次の各問いに答えよ。



- (1) P の速さは分速何 m か。
- (2) P が学校を出発してから x 分間に進んだ道のりを y m とするとき、 y を x の式で表せ。

- (3) Q は、出発してから 60 分後に A 駅に着いたという。Q が A 駅に着いたのは、P が A 駅を通過してから何分後か。
- (4) 2 人が学校を出発してから x 分間に、2 人の離れた距離を y m とするとき、 y を x の式で表せ。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
(4)		

【解答】(1) 分速 200m (2) $y = 200x$ (3) 40 分後 (4) $y = \frac{400}{3}x$

【解説】

(1) P は 40 分で 8000m 進むので、(速さ)=(距離) \div (時間) $=8000 \div 40 = 200$

よって P の速さは分速 200m である。

(2) (道のり)=(速さ) \times (時間)なので、 $y = 200 \times x$ 、 $y = 200x$

(3) Q が A 駅に着いたのは、出発してから 60 分後。グラフより、Q は 60 分後に 4000m 進んでいるので、駅は学校から 4000m 離れている。グラフより、P が 4000m 進んだのは出発してから 20 分後。60 $-20 = 40$ なので、Q が A 駅に着いたのは、P が A 駅を通過してから 40 分後である。

(4) Q は 60 分で 4000m 進むので、(速さ)=(距離) \div (時間) $=4000 \div 60 = \frac{4000}{60} = \frac{200}{3}$

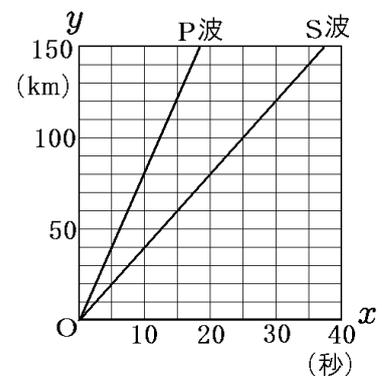
よって x 分では $\frac{200}{3} \times x = \frac{200}{3}x$ m 進む。

2 人の離れた距離を y m とすると、 $y = 200x - \frac{200}{3}x = \left(200 - \frac{200}{3}\right)x = \frac{400}{3}x$

【問題】(2 学期期末)

地震が発生すると、震源から P 波と S 波という 2 つの波が発生することが知られている。右のグラフは、ある地震で発生した 2 つの波が地震発生から x 秒後に、震源から y km の地点に伝わったとして、 x と y の関係をグラフに表したものである。これについて、次の各問いに答えよ。

- (1) P 波、S 波のグラフについて、それぞれ y を x の式で表せ。
- (2) 震源から 240km 離れた地点では、P 波と S 波が伝わる時間の差は何秒になると考えられるか。



[解答欄]

(1)P 波 :	S 波 :	(2)
----------	-------	-----

[解答](1)P 波 : $y = 8x$ S 波 : $y = 4x$ (2) 30 秒

[解説]

(1) P 波 : グラフは原点を通る直線なので, $y = ax$ の式で表すことができる。

グラフより, $x = 10$ のとき $y = 80$ なので, $y = ax$ に代入すると, $80 = a \times 10$

両辺を 10 で割ると, $a = 80 \div 10 = 8$ よって, 式は $y = 8x$ となる。

S 波 : グラフは原点を通る直線なので, $y = bx$ の式で表すことができる。

グラフより, $x = 20$ のとき $y = 80$ なので, $y = bx$ に代入すると, $80 = b \times 20$

両辺を 20 で割ると, $b = 80 \div 20 = 4$ よって, 式は $y = 4x$ となる。

(2) 震源から 240km 離れた地点で P 波, S 波が伝わる時間をそれぞれ計算する。

P 波 : $y = 8x$ に $y = 240$ を代入すると, $240 = 8x$ よって, $x = 240 \div 8 = 30$

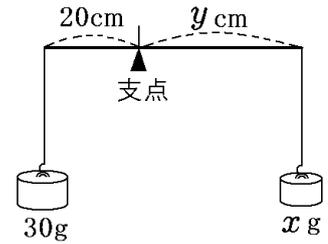
S 波 : $y = 4x$ に $y = 240$ を代入すると, $240 = 4x$ よって, $x = 240 \div 4 = 60$

したがって, P 波と S 波が伝わる時間の差は, $60 - 30 = 30$ (秒)である。

【】 てんびん・歯車など

[問題](2 学期期末)

右の図のように、てんびんの支点から左側に 20cm 離れたところに 30g のおもりをつり下げる。また、支点から右側につり下げるおもりの重さと支点からの距離をいろいろ変えて、左右がつり合うようにした。そのとき、



(おもりの重さ) \times (支点からの距離)が一定の値をとる。

次の各問いに答えよ。

- (1) 支点からの距離はおもりの重さに比例するか、反比例するか。「比例」または「反比例」という形で答えよ。
- (2) つり下げるおもりの重さを x g, そのときの支点からの距離を y cm とするとき, y を x の式で表せ。
- (3) 48g のおもりをつり下げるとき, おもりは支点から何 cm 離れているか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 反比例 (2) $y = \frac{600}{x}$ (3) 12.5cm

[解説]

(1)(2) (おもりの重さ) \times (支点からの距離)は一定の値をとる。

(おもりの重さ)=30(g)のとき, (支点からの距離)=20(cm)なので,

$$(おもりの重さ)\times(支点からの距離)=30\times 20=600$$

したがって, $x\times y=600$, $xy=600$

$$\text{両辺を } x \text{ で割ると, } xy\div x=600\div x, \quad y=\frac{600}{x}$$

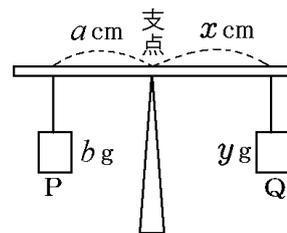
これは反比例の式で, y (支点からの距離)は x (おもりの重さ)に反比例する。

$$(3) \quad y=\frac{600}{x} \text{ に } x=48 \text{ を代入すると, } y=\frac{600}{48}=600\div 48=12.5$$

したがって, 48g のおもりをつり下げるとき, おもりは支点から 12.5cm 離れている。

[問題](後期中間)

右の図のようなてんびんで、支点から a cm のところにつり下げた b g の物体 P と、支点から x cm のところにつり下げた y g の物体 Q が釣り合うとき、 $ab = xy$ の関係が成り立つ。 $a = 18$, $b = 75$ のとき、次の各問いに答えよ。



(1) y を x の式で表せ。

(2) 物体 Q の重さが 90g のとき、物体 Q を支点から何 cm のところにつり下げれば釣り合うか。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $y = \frac{1350}{x}$ (2) 15cm

[解説]

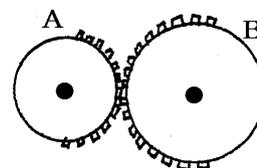
(1) $ab = xy$ に $a = 18$, $b = 75$ を代入すると、
 $18 \times 75 = xy$, $xy = 1350$

両辺を x で割ると、 $xy \div x = 1350 \div x$, $y = \frac{1350}{x}$

(2) $xy = 1350$ に $y = 90$ を代入すると、 $90x = 1350$, $x = 1350 \div 90$, $x = 15$

[問題](3 学期)

A, B 2 つの歯車がかみ合っている。A の歯車の歯数は 18 で毎分 50 回転している。B の歯車の歯数を x , 1 分間の回転数を y として、次の各問いに答えよ。



歯数 x	10	20	30	40	50
1 分間の回転数 y	90	ア	イ	22.5	18

(1) x と y の間の関係を表す次の表について、ア、イにあてはまる数を答えよ。

(2) 上の表から x と y の関係は、比例か、反比例か。

(3) y を x の式で表せ。

(4) B の歯数が 60 のとき、B の歯車の 1 分間の回転数を求めよ。

[解答欄]

(1)ア	イ	(2)
(3)	(4)	

[解答](1)ア 45 イ 30 (2) 反比例 (3) $y = \frac{900}{x}$ (4) 15

[解説]

歯車 B の歯が 1 つ進むと、歯車 A の歯も 1 つ進む。

また、(進んだ歯数)=(歯の数) \times (回転数)

(歯車 A の進んだ歯数) $=18 \times 50$ 、(歯車 B の進んだ歯数) $=x \times y$

(歯車 B の進んだ歯数)=(歯車 A の進んだ歯数)なので、

$x \times y = 18 \times 50$, $xy = 900$ 両辺を x で割ると、

$$xy \div x = 900 \div x, \frac{xy}{x} = \frac{900}{x}, y = \frac{900}{x}$$

x , y の間に $y = \frac{a}{x}$ (a は比例定数) という関係が成り立つとき、 y は x に反比例する。

$$(ア) x = 20 \text{ のとき, } y = \frac{900}{x} = \frac{900}{20} = 45 \text{ (イ) } x = 30 \text{ のとき, } y = \frac{900}{x} = \frac{900}{30} = 30$$

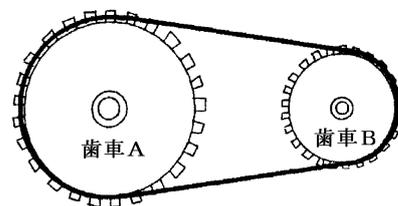
$$(4) x = 60 \text{ のとき, } y = \frac{900}{x} = \frac{900}{60} = 15$$

[問題](3 学期)

右の図のように、歯の数が 25 である歯車 A を 48 回転させると、歯の数が x である歯車 B が y 回転する機械がある。次の各問いに答えよ。

(1) y を x の式で表せ。

(2) 歯車 B の歯の数が 15 で、歯車 A を 48 回転させると、歯車 B は何回転するか。



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $y = \frac{1200}{x}$ (2) 80 回転

[解説]

(1) 歯車 B の歯が 1 つ進むと、歯車 A の歯も 1 つ進む。また、(進んだ歯数)=(歯の数) \times (回転数)

(歯車 B の進んだ歯数)=(歯車 A の進んだ歯数)

$$x \times y = 25 \times 48, xy = 1200 \quad \text{両辺を } x \text{ で割ると, } xy \div x = 1200 \div x, \frac{xy}{x} = \frac{1200}{x}, y = \frac{1200}{x}$$

(2) (A の歯の数) × (A の回転数) = (B の歯の数) × (B の回転数)

$$25 \times 48 = 15 \times y, \quad y = \frac{25 \times 48}{15} = 80 \text{ (回転)}$$

【】 グラフ：座標と式など

[問題](後期中間)

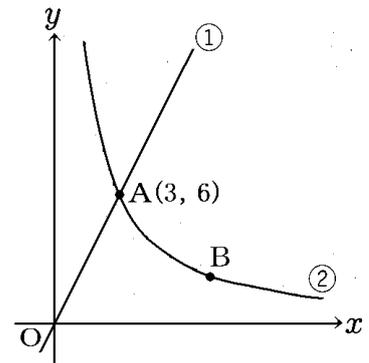
右の図のように、 $x > 0$ における比例のグラフ①と反比例のグラフ②の交点をAとする。Aの座標が

(3, 6)のとき、次の各問いに答えよ。

(1) ①のグラフの式を求めよ。

(2) ②のグラフの式を求めよ。

(3) $x = 6$ のときの②のグラフ上の点をBとするとき、Bの座標を求めよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) $y = 2x$ (2) $y = \frac{18}{x}$ (3) (6, 3)

[解説]

(1) ①は比例のグラフなので、式は $y = ax$ と表すことができる。

Aの座標は(3, 6)なので、 $x = 3$ のとき $y = 6$ になる。

$y = ax$ に $x = 3$, $y = 6$ を代入すると、

$$6 = a \times 3, \text{ 両辺を } 3 \text{ で割ると, } a = 6 \div 3, a = 2$$

よって、①のグラフの式は、 $y = 2x$ である。

(2) ②は反比例のグラフなので、その式は $y = \frac{b}{x}$ と表すことができる。

Aの座標は(3, 6)なので、 $x = 3$ のとき $y = 6$ になる。

$$y = \frac{b}{x} \text{ に } x = 3, y = 6 \text{ を代入すると, } 6 = \frac{b}{3}$$

両辺に3をかけると、 $6 \times 3 = b$, $b = 18$

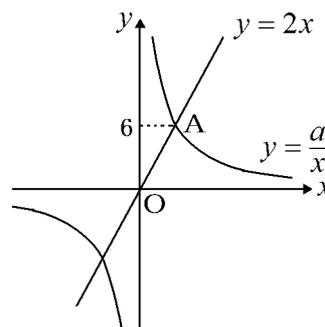
よって、②のグラフの式は、 $y = \frac{18}{x}$ である。

(3) 点Bは②のグラフ上にあるので、 $y = \frac{18}{x}$ に $x = 6$ を代入すると、

$y = \frac{18}{6}$, $y = 3$ よって、Bの座標は(6, 3)である。

[問題](後期中間)

右の図のように、 $y = 2x$ のグラフ上の点Aを通る $y = \frac{a}{x}$ がある。点Aのy座標が6のとき、 a の値を求めよ。



[解答欄]

--

[解答] $a = 18$

[解説]

点Aは $y = 2x$ 上にあつて、y座標が6なので、
 $y = 2x$ に $y = 6$ を代入して、 $6 = 2x$ 、 $x = 6 \div 2 = 3$
 よつて、点Aの座標は(3, 6)

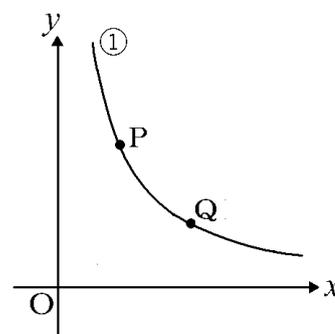
$y = \frac{a}{x}$ は点A(3, 6)を通るので、

$y = \frac{a}{x}$ に $x = 3$ 、 $y = 6$ を代入して、 $6 = \frac{a}{3}$

両辺に3をかけると、 $a = 6 \times 3 = 18$

[問題](2学期期末)

右の図で、曲線①は $y = \frac{a}{x}$ のグラフである。点Pおよび点Qは曲線①上の点で、x座標は2および4であり、y座標の差は3である。このとき、次の各問いに答えよ。



(1) a の値を求めよ。

(2) 比例のグラフ $y = mx$ が点P, Qの間で曲線①と交わる時、 m の範囲を求めよ。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $a = 12$ (2) $\frac{3}{4} \leq m \leq 3$

[解説]

(1) 点Pのx座標は $x = 2$ なので、y座標は、 $y = \frac{a}{x} = \frac{a}{2}$ である。

点Qのx座標は $x = 4$ なので、y座標は、 $y = \frac{a}{x} = \frac{a}{4}$ である。

点 P と点 Q の y 座標の差が 3 なので、 $\frac{a}{2} - \frac{a}{4} = 3$

両辺に、4 をかけると、 $2a - a = 12$ 、よって $a = 12$

(2) (1)より曲線①の式は $y = \frac{12}{x}$ である。

点 P の x 座標は 2 なので、y 座標は $y = \frac{12}{2} = 6$ である。

$y = mx$ が点 P を通るとき、 $x = 2$ 、 $y = 6$ を $y = mx$ に代入すると、
 $6 = m \times 2$ 、 $m = 6 \div 2 = 3$

点 Q の x 座標は 4 なので、y 座標は $y = \frac{12}{4} = 3$ である。

$y = mx$ が点 Q を通るとき、 $x = 4$ 、 $y = 3$ を $y = mx$ に代入すると、
 $3 = m \times 4$ 、 $m = 3 \div 4 = \frac{3}{4}$

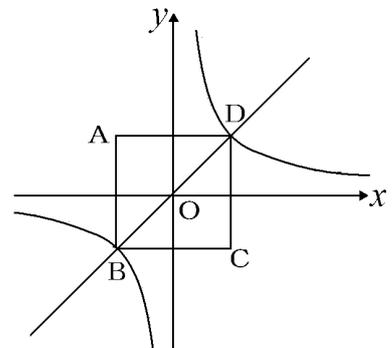
したがって、 m の範囲は、 $\frac{3}{4} \leq m \leq 3$ である。

[問題](2 学期期末)

右の図のように、 $y = x$ のグラフと $y = \frac{a}{x}$ のグラフが 2 点

B, D で交わっている。線分 BD を対角線とする正方形 ABCD の面積が 36 であるとき、次の各問いに答えよ。

- (1) 点 D の座標を求めよ。
- (2) a の値を求めよ



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) (3, 3) (2) $a = 9$

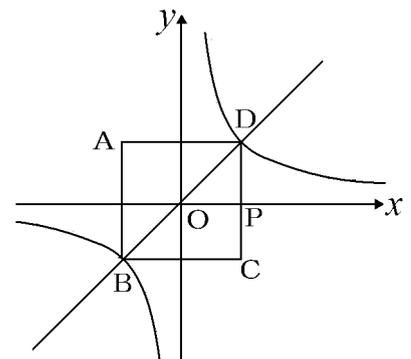
[解説]

(1) 正方形 ABCD の面積が 36 なので、正方形の 1 辺 AD の長さは 6 である ($6 \times 6 = 36$)。

よって、右図の $OP = 6 \div 2 = 3$ で、点 D の x 座標は 3 になる。点 D は $y = x$ 上にあるので、

$y = x$ に $x = 3$ を代入して、 $y = 3$ となる。

よって、点 D の座標は (3, 3) であることがわかる。



(2) 点 D(3, 3)は $y = \frac{a}{x}$ 上にもあるので, $x=3, y=3$ を $y = \frac{a}{x}$ に代入する。

$3 = \frac{a}{3}$ 両辺に 3 をかけると $3 \times 3 = a$ が成り立つ。よって, $a=9$ となる。

[問題](2 学期期末)

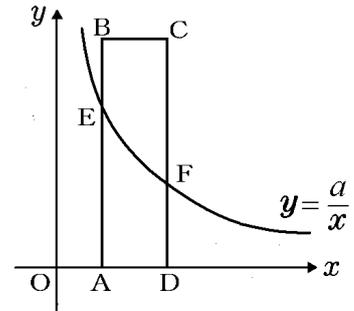
右の図のように, $y = \frac{a}{x}$ ($a > 0$) のグラフと 4 点

A(1, 0), B(1, 8), C(3, 8), D(3, 0) を頂点とする四角形 ABCD

がある。 $y = \frac{a}{x}$ のグラフと線分 AB, CD との交点をそれぞれ E,

F とする。四角形 EBCF の面積が四角形 ABCD の面積の $\frac{1}{2}$ と

なるとき, a の値を求めよ。



[解答欄]

[解答] $a = 6$

[解説]

四角形 AEFD の面積に注目する。

四角形 EBCF の面積は四角形 ABCD の面積の $\frac{1}{2}$ なので, 四角

形 AEFD の面積も四角形 ABCD の面積の $\frac{1}{2}$ である。

四角形 ABCD の面積は, $(3-1) \times 8 = 16$ であるので,

四角形 AEFD の面積は, $16 \times \frac{1}{2} = 8$ となる。…①

次に, 四角形 AEFD の面積を a を使って表す。

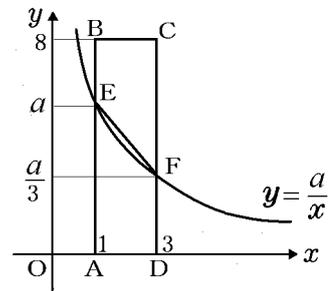
図より, 点 E の x 座標は 1 なので, $y = \frac{a}{x}$ に $x=1$ を代入して, $y = a$

また, 点 F の x 座標は 3 なので, $y = \frac{a}{x}$ に $x=3$ を代入して, $y = \frac{a}{3}$

四角形 AEFD は AE を下底, DF を上底, AD を高さとする台形なので,

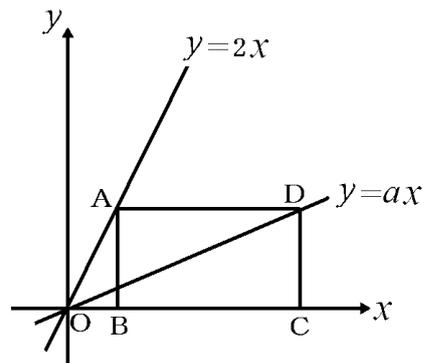
$$(\text{四角形 AEFD の面積}) = \frac{1}{2} \times \left(a + \frac{a}{3} \right) \times 2 = a + \frac{a}{3} = \frac{4}{3}a$$

①より, 四角形 AEFD の面積は 8 なので, $\frac{4}{3}a = 8$, よって, $a = 8 \div \frac{4}{3} = 8 \times \frac{3}{4} = 6$



[問題](2 学期期末)

右の図で、2点 B, C は x 軸上にあり、長方形 ABCD の辺 AB と BC の長さの比は $2 : 3$ である。2点 O, A を通るグラフを $y = 2x$, 2点 O, D を通るグラフを $y = ax$ とするとき、次の各問いに答えよ。



- (1) 点 B の x 座標を b とすると、点 C の x 座標を b を使って表せ。
 (2) a の値を求めよ。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $4b$ (2) $a = \frac{1}{2}$

[解説]

(1) 点 B の x 座標が b なので、点 A の x 座標も b になる。 $y = 2x$ に $x = b$ を代入すると、 $y = 2b$ となる。よって点 A の y 座標は $2b$ で、 $AB = 2b$

AB と BC の長さの比は $2 : 3$ であるので、 $BC = 3b$

点 B の x 座標が b で $BC = 3b$ なので、点 C の x 座標は $b + 3b = 4b$ である。

(2) 点 D の y 座標は点 A の y 座標と等しく $y = 2b$

よって点 D の座標は $(4b, 2b)$

$y = ax$ に $x = 4b$, $y = 2b$ を代入すると、 $2b = a \times 4b$

両辺を $4b$ で割ると、 $a \times 4b \div 4b = 2b \div 4b$, $\frac{a \times 4b}{4b} = \frac{2b}{4b}$, $a = \frac{1}{2}$

【FdData 中間期末製品版のご案内】

詳細は、[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 中間期末を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800~2100 ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の 90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受けた今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、印刷はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆FdData 中間期末製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[数学 1 年](#)、[数学 2 年](#)、[数学 3 年](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

[理科 1 年](#)、[理科 2 年](#)、[理科 3 年](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

[社会地理](#)、[社会歴史](#)、[社会公民](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール(info2@fdtext.com)、または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#)、[注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com Tel : 092-811-0960